

2011年1月7日
新日本製鐵株式会社
TATA STEEL LIMITED

自動車用冷延鋼板を製造・販売する合弁事業に関する合弁契約の締結について

新日本製鐵株式会社（社長 宗岡 正二、以下 新日鉄）と TATA STEEL LIMITED（Managing Director H.M.Nerurkar、以下 TSL）は、インドにおける自動車市場の発展に伴い中長期的な成長が見込まれる高級自動車用鋼板需要に応えるため、自動車用冷延鋼板を製造・販売する合弁事業を TSL の Jamshedpur 製鉄所で実施することで合意し、昨年 4 月に意向書を取り交わして、詳細条件について詰めの協議を行って参りましたが、今般これらの協議が整ったことから、本日、正式な合弁契約を締結致しました。

今後、両社は、法人設立、設備建設、及び立ち上げに向けた準備に着手し、2013 年度の営業運転開始を目指します。

新日鉄は、2000 年に稼働した TSL の冷延工場に関するエンジニアリング協力以来、自動車用冷延鋼板に関する技術協力など自動車用鋼板分野での協力に加え、TSL の既存製鉄所の能力拡張及び新一貫製鉄所の基本構想策定等、幅広い分野での協力を行って参りました。

今回の合弁会社は、この協力関係を深化させ、具体的な共同事業の実施に取り組むものであります。

両社は、将来に向け、さらなる協業の可能性について、幅広く継続協議していくこととしております。

両社は、合弁事業の実施により、日系をはじめとするインドの自動車メーカーの高級冷延鋼板の現地調達化ニーズに的確に対応し、インドにおける自動車生産のさらなる拡大に貢献していく所存です。

合弁会社の概要

- ① 事業内容 自動車向けを中心とした冷延鋼板の製造・販売
- ② 製品 冷延鋼板（主として自動車向け）
- ③ 設備／能力 連続焼鈍（C.A.P.L.）／ 年間 60 万トン
- ④ 技術 新日鉄保有の高級自動車用冷延鋼板（外板、高張力鋼板を含む）製造技術
- ⑤ 従業員数 約 300 名
- ⑥ 総投資額 約 400 億円
- ⑦ 資本金 87 億 INR（約 160 億円）
- ⑧ 出資比率 TSL : 51%
新日鉄 : 49%
- ⑧ 立地 TSL Jamshedpur 製鉄所構内（Jharkhand 州）
- ⑨ スケジュール 2013 年度に生産開始

（本件に関するお問い合わせ先）

新日本製鐵株式会社 総務部広報センター 03-6867-2135、2146、2147

以 上

(参考) TATA STEEL LIMITED の概要

- (1) 設立 1907 年 8 月 26 日
- (2) 操業開始 1911 年 12 月 2 日 初出銑
- (3) 本社所在地 インド マハーラーシュトラ州 ムンバイ
- (4) 製鉄所所在地 インド ジャールカンド州 ジャムシェドプール



- (5) 資本金 88.7 億ルピー (約 169 億円)
- (6) 株主 タタ・グループ (32.48%)
ボンベイ株式市場上場
- (7) Chairman R. N. Tata
- (8) Managing Director H. M. Nerurkar

(9) 経営状況 (単独)

(期末レートで換算)

	2007 年度	2008 年度	2009 年度
粗鋼生産	501 万トン	565 万トン	656 万トン
売上高	1969 億 Rp (4918 億円)	2432 億 Rp (4695 億円)	2502 億 Rp (5183 億円)
税前利益	707 億 Rp (1765 億円)	732 億 Rp (1413 億円)	721 億 Rp (1494 億円)
純利益	469 億 Rp (1171 億円)	520 億 Rp (1005 億円)	505 億 Rp (1045 億円)
総資産	4707 億 Rp (1 兆 3447 億円)	5874 億 Rp (1 兆 3073 億円)	6423 億 Rp (1 兆 5169 億円)
純資産	2730 億 Rp (6818 億円)	3018 億 Rp (5827 億円)	3696 億 Rp (7656 億円)



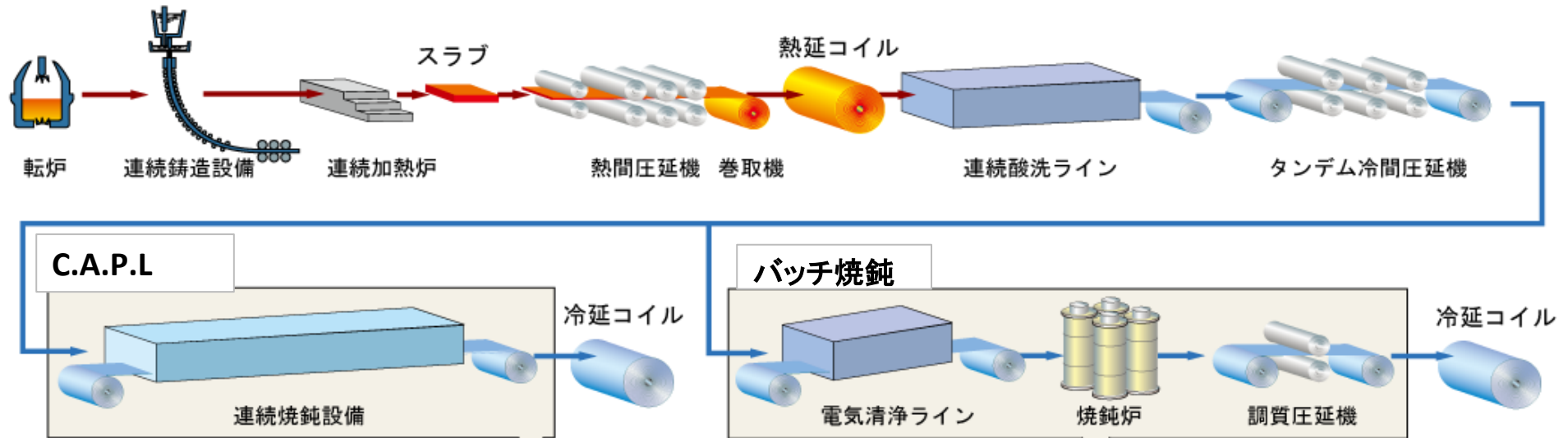
TSL Jamshedpur 製鉄所



同 冷延工場

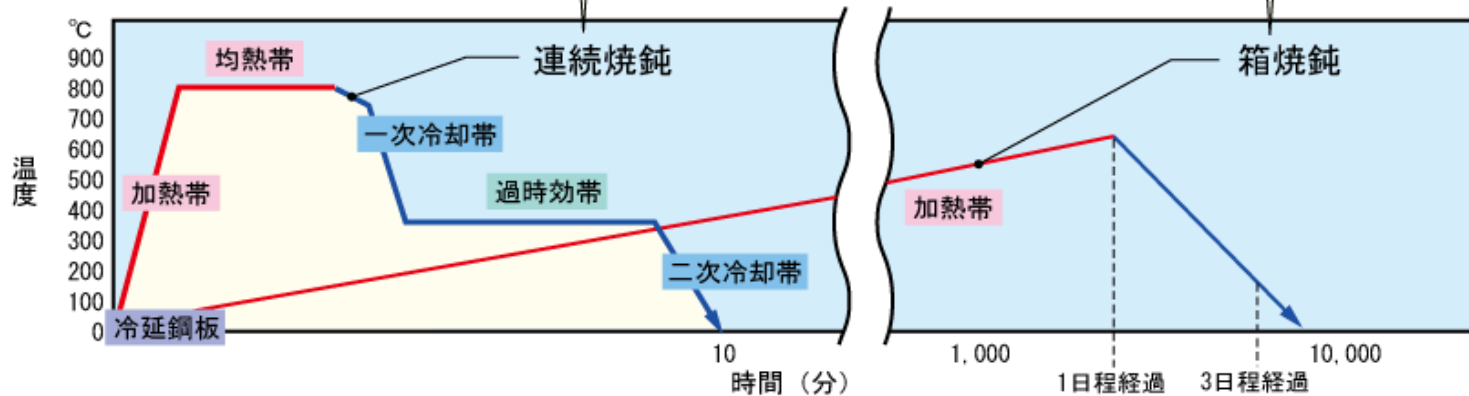
冷延・めっき鋼板の製造プロセス概要

図 1



連続化と焼鈍時間の短縮

図 2



従来のバッチ焼鈍工程から、大幅な製造工期短縮・品質向上を実現したC.A.P.L.は、1972年に新日本製鐵が世界で初めて導入。